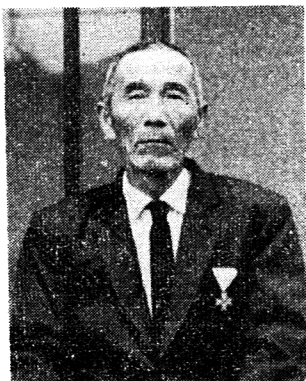


統計スタッフ

生存者叙勲野上幾氏に

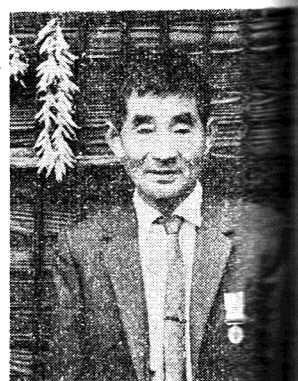
昭和41年4月29日、天皇誕生日に叙勲のあつたりちで本県の野上幾氏は、勲六等に叙せられ瑞宝章を授与された。5月12日はれの勲章伝達式が行政管理庁で行なわれた。野上氏は、久慈郡水府村生れで、統計業務については、大正10年農商務統計の調査員に任命されて以来、国勢調査員、農林統計調査員等に従事した。また、本県が毎年実施している農業基本調査には当初から調査員として活躍するなど、40数年にわたる幾多の統計調査における功績は大きい。



このたびの叙勲に氏が選ばれたことは、関係者一同喜びにたえないものがあろう。心からお祝いをします。

鮭川氏に藍綬褒章

昭和41年3月30日、多年国勢調査員ならびに他の統計調査に従事し、その職務の遂行にあつて、功勞顯著であつた者に対して藍綬褒章が授与された。今回の榮譽によつたのは全国で18名本県からは、鮭川清氏が選ばれた。



鮭川清氏は筑波郡筑波町の生れで、大正9年の第1回国勢調査以来毎回調査員に選任され、調査の本旨を認識した着実な仕事ぶりとともにその功績は他の範として顯著なものがあつた。

統計行政のうちでも、調査員は日のあたらぬものである。その中にあつて、このような任務を永年にはたした鮭川氏の勞功に対して心から拍手を送ることに、今後とも後進の指導等統計の発展のためにをいただきたいと思ひます。

40年度の表彰伝達式行なわれる!

昭和40年度に行なわれた国勢調査、中間農業センサス住民登録移動報告の各調査に従事した市町村、ならびに指導員のうち、成績優秀をもつて、下記のとおり、内閣総理大臣、農林大臣からそれぞれ表彰された。これらの表彰は、各位の熱心な努力がみのつた結果であり、今後の活躍を期待し、心から拍手を送ります。表彰式は、去る4月18日水戸市内西洋堂において盛大に行なわれた。

受賞者名

内閣総理大臣表彰

昭和40年国勢調査

水戸市	指導員	川上勝美
石岡市	〃	小松さく
高萩市	〃	大部浩志
友部町	〃	山口政之
大子町	〃	藤田耕夫
八千代村	〃	高橋文則
土浦市	吏員	藤井武
水海道市	〃	松崎幸彦
常陸太田市	〃	江幡道松
東海村	〃	大内

出島村	〃	長谷川節
住民登録人口移動報告		水府村

農林大臣表彰

1965年中間農業センサス

常陸太田市		
眞壁町		
桂村	指導員	加藤圭一
県統計課		關部大

財団法人農林統計協会長表彰

1965年中間農業センサス

東海村	指導員	大内松
-----	-----	-----

茨城県統計協会総裁表彰

1965年中間農業センサス

土浦市	指導員	羽成道正
笠間市	〃	河村田五
大子町	〃	藤小松崎
鉾田町	〃	波田登志
玉造町	〃	古川登
阿見町	〃	豊崎
千代田村	〃	入江五
谷田部町	〃	

事業所統計調査7月1日に実施

統計は、7月1日に全国一斉に行なわれるが、行なわれた国勢調査と並ぶ国の最も基本的な統計調査の一つである。この調査は3年に1度、事業の行なわれる個々の場所を事業所として、たとえば、工場、店舗、飲食店、映画館、浴場などから、駅、学校、神社、寺院、美術館、公民館など、すべて事業所を行なっているところを対象として調査される。昭和の第1回調査以来、20年間の経済の復興、発展を遂げた事業所統計調査は、事業所の地域別、産業別、経営組織別などの構成を明らかにし、国や地方自治体が行行政における施策の立案、実施に欠かせない統計資料であり、また、学術研究、経営資料など多方面でも広い範囲にわたっている。最近、人口、都市等の都市集中に伴って、都市における住宅不足、農村部の若年労働力不足の問題等に対するため、地域開発計画が打ち出されているが、これら計画立案にあたっては不可欠な資料である。

商業調査も7月1日に

経済の高度成長にともなう、流通部門における遅れが目立ち、その改善が叫ばれているが、われわれの身近な直接的な問題として考えてみる必要がある

う。このような問題の動きをとらえる基本的統計資料として商業調査は、もつとも重要な調査である。この調査は2年毎に全国の商店について、その分布状況ならびに商業活動の実態を明らかにして、流通活動の資料となるもので、調査の対象は、一定の場所をもつて卸売業、小売業あるいは飲食店を営んでいる事業所で、産業分類では大分類G一卸売、小売業に属する事業所である。調査の実施にあたっては、多忙をきわめる事業者の大きな協力があることを、調査の実施者、利用者共々忘れてはならないだろう。

茨城県統計協会総会の開催

県統計協会の本年度の事業計画並びに予算を決める総会は、去る4月8日水戸市水府荘において行なわれた。議案について熱心な協議が行なわれた結果、満場一致で可決し、昭和41年度の本県の統計界に大きな役割を果すことに最善を期することを決定した。

地方統計職員業務研修指導者研修会開かる ——東日本から42名が名参加——

行政管理庁主催の、標記研修会が、5月25日から3日間、大洗町かもめ荘において開かれた。この講習会は地方の統計職員に対する指導者養成を目的とするもので、東日本の各都道県から優秀な職員が参加して行われた。

統計課の異動

		新	旧
4月1日	渡 辺 洋 子	県議会議務局総務課	広報資料係
4月10日	稲 葉 鶴 夫	住宅課宅地係長	人口学事統計係主幹
5月31日	山 中 光	退職 民間事業へ	労働統計係長
5月31日	園 部 太 郎	退職 統計課嘱託	農林統計係主幹

=編集室から=

編集者横田主事のあとをついで、本誌の編集をすることになりました。

意力ながら、読者の皆様とともに本誌の内容をよりよいものにして行きたいと思っております。統計に関する広報、研究の原稿をお寄せ下さい。なお、本年度は、6回発行の予定でありますので1号45頁前後となります。

